

議長通信



三角 良人 議長

傍聴者のこえ

議会の傍聴に町民の方が訪れます。なかでも、「一般質問」時は多く、初めての方や毎回足を運んでいただく方もいます。

議会では、傍聴者にアンケートを配付し、さまざまな視点から、貴重なご意見をいただいています。

議員の質問や執行部の答弁についての感想や評価、町の施策に対する要望、また、質問者が少ない、

調査不足、具体的な数値を示されていないなど、厳しい声もあります。

議員は、町の課題について問い質すことで、町のあり方を変えていく「一般質問」の本来の趣旨により町を監視する一方で、有権者である町民から、議員としての資質や提案能力を監視されていると感じます。

町民みなさまの声を真摯に受け止め、議員の個別要求やパフォーマンスの場とならぬよう、また議場を占拠し単なる演説とならぬよう、十分な分析と準備をした上で一般質問に臨むことが必要だと考えます。

町議会議員も、任期を1年残すのみとなりました。町民みなさまの負託に答えるべく研鑽を重ね、より

信頼される議会となるよう努力していく所存です。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

【一般質問 あるある】

- ・確認だけの質問
- ・個別要求が過ぎる質問（地元や個別団体の要求がむき出しになってしまっている質問）
- ・国の政策で、町とのかかわりが薄い政策についての質問
- ・町には合わない、隣の芝生は青い質問
- ・根拠なき批判にとどまる質問
- ・自身の政治信条に終始する質問
- ・論点を入れすぎた質問

すえっ子未来ちが



作・田原ウーゴ 1979年須恵町生まれ、イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <http://polyworks.jp>

第1回 臨時会

平成30年1月30日

人事院勧告に基づく一般職および特別職の職員の給与に関する法律の改正にともなう条例改正案など、9議案を審議し、いずれも全員賛成で可決・承認しました。

- 須恵町税条例の一部改正(専決処分)
- 須恵町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 須恵町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 工事請負契約の変更
- 平成29年度須恵町一般会計補正予算
- 平成29年度須恵町後期高齢者医療特別会計補正予算
- 平成29年度須恵町公共下水道事業特別会計補正予算
- 平成29年度須恵町水道事業会計補正予算

人事案件の審議結果

須恵町固定資産評価員の選任

今泉 俊裕氏(甲植木区・61歳)

須恵町固定資産評価員 平松秀一氏が平成30年3月31日をもって辞任のため、後任として選任



本会議傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日に役場4階議会事務局の窓口にお越しください。(予約不要)

議を生でみてみよう!



ホームページで本会議の会議録を公開しています。

須恵町議会 検索

平成23年以降の会議録を掲載しています。ぜひご覧ください。

次の定例会は6月8日からの予定です。

総務建設産業委員会 視察研修レポート

大木町循環センター「くるるん」

福岡県大木町を視察 平成30年2月7日(水)

循環のまちづくりの拠点として、生ごみ・し尿・浄化槽汚泥をバイオマス資源化する施設です。

この施設は、焼却を中心とする現在のごみ処理と異なり、廃棄物資源に軸足を移す持続可能な循環社会をめざす試みと思います。

町の面積の14%、総延長215kmの掘割がある大木町の地形の事情で、下水道を整備する事が困難です。そのため独特の方式を採用し、各家庭や給食センターから出る生ごみやし尿、浄化槽汚泥をセンターに搬入し、処理しています。

処理により発生するメタンガスで、電力や液肥などを生産し、電力は施設内で使用。液肥は、無料(散布代は有料)で水稻や麦



などの土地利用型の作物に循環活用します。

この方法は町民の協力がなければできませんが、大木町は循環のシステムを確立しています。

状況・方法は違いますが、須恵町においてもごみを出せるだけ資源化する方法は見出していかなければなりません。



追跡 一般質問のその後

執行部の答弁は実行されているのか?

過去の一般質問の内容に対し、どのような対応がなされたか、また、どのように町政に反映されているのか追跡しました。

制服のリユース促進を(平成24年3月議会)

質問 教育にかかる費用を少しでも節約したい、という思いから、学校ぐるみで制服や体操着を譲り合う取り組みが広がっています。厳しい経済状況の中で、家計の支援と子どもたちに物を大事にする心を養うことを目的として、制服のリユースを子ども教育課が窓口になって行ってはどうですか。

答弁 制服のリユースについては賛成です。しかし、それを行政サービスとして行うのは、本町の教育施策である「感動・感謝・共感を生む教育のまちづくり」にはつながらないと思います。町としては、学校と保護者による活動が最も意義あるものと考えており、その活動が普及するよう広報活動をしていきます。

昨年末より、須恵中学校独自の取り組みで、リユース運動が始められました。

校内に回収箱を設置し、卒業生の保護者や地域の方へ呼びかけ、制服や体操服、通学カバンなどを提供してもらっています。本年3月末で67点ほど集まり、申込みは10件、サイズなどを考えるとまだまだ不足している状況とのことです。

保護者や生徒からは、新規購入は高額なのでとても助かる、このようなシステムができてありがたい、協力できて良かった、などの声が聞かれたそうです。



事務室前に設置された回収箱

その後